

# 今後の施策の方向性

(案)



## (1) 安全・安心を支える住まい・まちづくり

- ・市民が安心して暮らしていくためには、生活の基盤となる住宅・住環境について、耐震性や耐火性などの基本的な性能が確保されるとともに、住宅セーフティネットの構築を的確に進めていくことが重要である。
- ・そのため、公的住宅はもとより、民間住宅についても、住戸面積や設備性能等の居住水準の向上、段差解消やエレベーター設置等のバリアフリー化の促進、耐震性や防犯性の向上等が図られるように適切に誘導するとともに、高齢者や障害者等が住宅を選択しやすい環境を整えていく必要がある。
- ・市営住宅においては、ストックの有効活用を図るとともに、真に住宅に困窮する世帯に対して、よりの確に住宅が提供できるよう、公平で公正な管理を推進していくことが求められる。
- ・また、上町断層帯地震等の大規模地震の発生が危惧されるなか、住まいやまちの安全性を確保していくことは喫緊の課題となっており、老朽木造住宅の建替えや建築物の耐震化等を促進するとともに、特に甚大な被害が予測されている密集住宅市街地の整備を戦略的に進めていくべきである。
- ・さらに、安心して暮らせる住環境の形成を図るためには、防犯や、火災、震災、集中豪雨による浸水などに対する様々な防災について、市民の強い意識が不可欠であり、施策展開にあたっては、市民との協働によるハード・ソフト両面からの取り組みを総合的に進めることが重要である。

## (2) まちの魅力をひきだす住まい・まちづくり

- ・誰もが住みたいと感じ、心豊かな生活をおくることのできるまちとしていくためには、市内の様々なまちの魅力を高め、愛着と誇りの持てるまちづくりを進める必要がある。
- ・大阪市は古くから都市として栄えた。そのため、市内には、まちの魅力を高める重要な要素となる、歴史的・文化的なまちなみや地域のシンボルとなる建築

物や建造物、緑・水辺といった自然環境、古くから伝わる祭事や習慣など、地域に根ざした有形・無形の文化が資源として引き継がれている。

- ・しかしながら、それらの資源がまちづくりに十分に活かしきれていない場合や、さらに、建築物の建替えや、まちの更新とともに失われていくことも少なからず見られる。
- ・またその一方で、長年にわたって育まれてきたコミュニティによって様々な活動が行われ、まちの魅力を高めている地域や、まちづくり団体等の取り組みによって、潜在する魅力が再認識されている地域も存在する。
- ・誇りと愛着をもって暮らせるまちを実現していくためには、地域との協働のもと、多彩なまちの魅力をひきだす住まい・まちづくりを進め、その魅力をさらには次世代へと継承し、発展させていくことが重要である。

### (3) 都市の活力を高める住まい・まちづくり

- ・都市が将来にわたって継続的に発展していくためには、経済、文化、コミュニティをはじめとする様々な都市活動が活発に行われていく必要がある。都市活動の担い手は、言うまでも無く市民が基本であり、新婚・子育て世帯をはじめ幅広い世帯の市内居住を積極的に促進していくことが重要である。
- ・そのため、男女共同参画社会や国際化の進展等によりライフスタイルや価値観がますます多様化している状況を踏まえ、市民の住宅の選択肢を広げる多様な住宅ストックの形成など、幅広い居住ニーズに対応した施策を強力に展開していくべきである。
- ・また、市民が生き活きと、地域での生活をおくれることが、都市活力の向上には不可欠である。地域に根ざしたコミュニティは、活気に満ちた市民生活の基盤であり、その維持・形成を支援する取り組みが必要である。
- ・また、市営住宅ストックについても、地域の活性化に資する活用が求められ、建替えにあわせた周辺道路やオープンスペースの整備、建替余剰地を活用した福祉施設、生活利便施設の立地誘導など、まちづくりに貢献する事業展開を、

民間活力も活用しながら進めていくべきである。

#### (4) 環境と調和する住まい・まちづくり

- ・地球温暖化の進行や異常気象の発生など、地球規模で環境問題が深刻化しているなか、都市レベルにおいても環境問題に対する取り組みはますます重要となってきた。
- ・特に、わが国で排出される温室効果ガスの約3分の1は、住宅や建築物から排出されており、省エネルギー技術や再生可能エネルギーを活用した住宅の供給、リフォームや適切な維持管理による住宅・建築物の長期利用、既存住宅流通の円滑化によるストックの有効活用等を促進するなど、環境負荷の低減を図る施策を展開していくことが必要である。
- ・また、大阪市では、都市がコンクリートやアスファルト等で覆われていることや、エネルギー消費に伴う排熱の増加などにより、気温が周辺に比べて高くなる、ヒートアイランド現象が大きな問題となっており、住宅・建築物における対策が求められる。